

## ◎高松市生涯学習基本計画「いきいき高松まなびプランⅢ」の推進状況について

### [1] 概要

高松市生涯学習基本計画「いきいき高松まなびプランⅢ」（計画期間：平成25年～29年度）に掲載した全事業の平成29年度の推進状況について、事業担当課で評価点（様式1）及び達成度（様式2）の自己評価を行いました。

#### ●（様式1）取組事業推進状況一覧

基本方針	施策体系	事業数	評価点別 事業数						平均評価点	
			5点	4点	3点	2点	1点	評価不可		
Ⅰまなぶ	1 ライフステージに応じた学びの環境づくり	41	16	18	3	1	0	3	4.1	4.3
	2 家庭の教育力の向上	19	8	9	2	0	0	0	4.3	
	3 学校における多様な学びの機会の充実	24	13	9	2	0	0	0	4.5	
	4 地域の教育力の向上	24	9	10	4	0	1	0	4.1	
	5 学びの場の充実と活用	11	7	4	0	0	0	0	4.6	
Ⅱいかす	1 学びの成果を活かせる環境づくり	8	3	3	2	0	0	0	4.1	3.8
	2 社会参加と自己表現につながる学びの機会の充実	5	0	2	3	0	0	0	3.4	
Ⅲつなぐ	1 学びでつなぐ人や地域のネットワークづくり	8	5	3	0	0	0	0	4.6	4.4
	2 地域を担う人材・団体の育成	14	5	6	1	0	0	2	4.3	
	3 豊かな学習資源の充実	9	5	3	1	0	0	0	4.4	
Ⅳひろげる	1 生涯学習情報の拡充	13	7	4	2	0	0	0	4.4	4.3
	2 生涯学習における情報化の推進	7	4	1	1	1	0	0	4.1	
	総合計	183	82	72	21	2	1	5	4.3	

- ★評価点：5点（設定した目標が達成されている等、十分成果が上がっている）  
 4点（成果が上がっているが、更なる取組による成果向上の余地がある）  
 3点（一定の成果が上がっているが課題もあり、更なる改善が必要である）  
 2点（成果が十分に上がっておらず、更なる改善が必要である）  
 1点（抜本的な見直しが必要である）

●（様式2）目標達成状況一覧

基本方針	施策体系	事業数	達成度別 事業数					平均評価点	
			A	B	C	D	評価不可		
I まなぶ	1 ライフステージに応じた学びの環境づくり	41	9	16	9	0	7	4.0	4.1
	2 家庭の教育力の向上	19	8	6	3	0	2	4.3	
	3 学校における多様な学びの機会の充実	24	11	5	8	0	0	4.1	
	4 地域の教育力の向上	24	10	7	6	1	0	4.1	
	5 学びの場の充実と活用	11	5	3	3	0	0	4.2	
	施策体系にはないが、目標値の設定がある事業（*1）	2	0	1	0	0	1	4.0	
II いかす	1 学びの成果を活かせる環境づくり	8	3	3	2	0	0	4.1	4.3
	2 社会参加と自己表現につながる学びの機会の充実	5	3	2	0	0	0	4.6	
	施策体系にはないが、目標値の設定がある事業（*1）	1	0	0	0	0	1		
III つなぐ	1 学びでつなぐ人や地域のネットワークづくり	8	4	4	0	0	0	4.5	4.0
	2 地域を担う人材・団体の育成	14	1	4	6	0	3	3.5	
	3 豊かな学習資源の充実	9	4	3	2	0	0	4.2	
IV ひろげる	1 生涯学習情報の拡充	13	4	3	2	0	4	4.2	4.3
	2 生涯学習における情報化の推進	7	4	1	1	0	1	4.5	
	総合計	186	66	58	42	1	19	4.1	

- （\*1） No.120 図書館図書市民一人あたり貸出冊数（年間）  
 No.121 生涯学習をしている人の割合（市民意識アンケート調査）  
 No.135 ボランティア活動に参加した人の割合（市民意識アンケート調査）

- ★達成度：A（目標を達成した。目標値の100%以上）  
 B（概ね計画どおり進行した。目標値の80%以上100%未満）  
 C（計画よりも遅れた。目標値の79%以下）  
 D（未着手のまま）

- ★評価点：A→5点、B→4点、C→3点、D→2点で換算

## [2] 分析結果

平成 29 年度の平均評価点は、「様式 1」では 4.3 点で、前年度と同点でしたが、「様式 2」では、4.1 点となり、前年度と比べて 0.2 点減少しました。

事業別で比較しますと、評価が前年度と比べて良くなった事業は、「様式 1」では 26 事業、「様式 2」では 22 事業でした。

これは、各課で、参加者が増えるよう、幅広い年齢層が参加できるよう企画したり、開催回数を増やしたりと事業内容に工夫を凝らしたほか、No.94 の「交通安全教室」では、高齢者の事故抑止を当面の重点課題として捉え、高齢者向け教室の実施回数の増加に努めた成果が表れ、開催回数を増やすことができました。

広報活動では、市ホームページや広報たかまつの活用はもとより、コミュニティセンターや、I KODE 瓦町（瓦町 FLAG 8 階）など集客力がある施設にチラシ等を設置したり、若い世代等への周知を図るために、フェイスブックなどの SNS や、民間の広報誌に掲載するなど、多種多様な情報発信を幅広い年齢層に行いました。

一方、前年度よりも評価が下がった事業は、「様式 1」では 30 事業、「様式 2」では 40 事業となりました。

これは、参加者数や実施回数、講座数の減等によるものが原因として多くみられました。

また、基本方針別では、4 つの基本方針のうち、「様式 1」では「Ⅱ いかす」が、また「様式 2」では「Ⅲ つなぐ」が、それぞれ、低い評価点となりました。

これは、学んだ成果を地域などで活かすための活動が広がっていないことや、次代を担う人材・団体の育成がそれほど進んでいないことなどが、その要因と考えられます。

このようなことから、今後、本市における生涯学習の一層の推進を図るためには、市民ニーズを踏まえて、事業がより良いものとなるよう、開催日などの見直しや、早い時期から PR を行うなど、事業内容の充実を図ることはもとより、生涯学習事業を、まちづくりや地域の活性化等につなげていく仕組みづくりや、生涯学習活動の核となるリーダー育成等に一層力を注いでいくことが大切であると思われます。

※昨年度まで、「様式 2」は A が 4 点、B が 3 点、C が 2 点、D が 1 点で評価点を算出していましたが、「様式 1」との比較等のため、今年度から 5 点満点で評価しております。